



44:1 ヨセフは家を管理する者に命じた。「あの者たちの袋を、彼らが運べるかぎりの食糧で満たし、一人ひとりの銀を彼らの袋の口に入れておけ。

44:2 それから、私の杯、あの銀の杯は、一番年下の者の袋の口、穀物の代金と一緒にに入れておけ。」彼はヨセフのことばどおりにした。

44:3 明け方、一行はろばとともに送り出された。

44:4 彼らが町を出て、まだ遠くへ行かないうちに、ヨセフは家を管理する者に言った。

「さあ、あの者たちの後を追え。追いついたら、『なぜ、おまえたちは悪をもって善に報いるのか。』

44:5 これは、私の主君が、飲んだり占いをしたりするときに、いつも使っておられるものではないか。おまえたちのしたことは悪辣だ』と彼らに言うのだ。」

44:6 彼は追いついて、このことばを彼らに告げた。

44:7 彼らは言った。「あなた様は、なぜ、そのようなことをおっしゃるのですか。しもべどもがそんなことをするなど、あり得ないことです。」

44:8 袋の口で見つけた銀でさえ、カナンの中からあなた様のもとへ返しに来たではありませんか。どうして、あなた様のご主人の家から銀や金を盗んだりするでしょう。

44:9 しもべどものうちで、それが見つかった者は殺してください。そして、私たちもまた、ご主人の奴隷になります。」

44:10 彼は言った。「今度も、おまえたちの

言うことはもっともだが、それが見つかった者は私の奴隷とし、ほかの者は無罪としよう。」

44:11 彼らは急いでそれぞれ自分の袋を地面に降ろし、それぞれその袋を開けた。

44:12 彼は年長の者から調べ始めて、年下の者で終えた。すると、その杯はベニヤミンの袋から見つかった。

44:13 彼らは自分の衣を引き裂いた。そして、それぞれろばに荷を負わせ、町に引き返した。

44:14 ユダと兄弟たちがヨセフの家に来て来たとき、ヨセフはまだ、そこにいた。彼らはヨセフの前で顔を地に伏せた。

44:15 ヨセフは彼らに言った。「おまえたちの、このしわざは何だ。私のような者は占いをするというを知らなかったのか。」

44:16 ユダが答えた。「あなた様に何を申し上げられるでしょう。何の申し開きができるでしょう。神がしもべどもの咎を暴かれたのです。今このとおり、私たちも、そして、その手に杯が見つかった者も、あなた様の奴隷となります。」

44:17 ヨセフは言った。「そんなことをするなど、とんでもないことだ。その手に杯が見つかった者、その者が私の奴隷となるのだ。おまえたちは安心して父のもとへ帰るがよい。」

ヨセフは以前も兄たちが互いに愛し助け合うようになっているかどうかを知りたくて、シメオンを人質に取りました。今度は弟のベニヤミンですが、彼は父ヨセフの年寄り子であり、最も愛した

妻ラケルの子ともです。すなわちヨセフと同じように、他の兄たちから妬まれるような存在だったのです。そこでヨセフは、兄たちは彼をもかばって守ろうとするかどうかを見たかったのです。

またユダは「神がしもべどもの罪をあばかれた」と言うように、罪を犯した（と思われる）ベニヤミンさえもかばうかどうかをも確認したかったのでしょう。つまり兄たちの変化が本物かどうかを見たかったのです。

かつてヨセフを奴隷として売り飛ばしたユダは、今は弟をかばって全員でその罪を負おうとしています。彼の誠意は本物でした。

肉の兄弟また家族、そして霊の兄弟姉妹と家族は互いに赦しあい、いかに合うべきです。そこから神様のみこころになった素晴らしい解決と勝利の可能性が開けてきます。

ヨセフの兄たちは身に起きた苦難によって、かつて自分たちがヨセフにした罪に気づきました。そして真摯に罪を認めて悔いるところから、このような誠実な者への変化が始まったのです。苦しさから脱出することばかり求めるよりも、そこから学び、悟り、善き者へと変えられるチャンスとしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

